

中山間地域総合整備事業

土地改良事業変更計画概要書
土地改良事業計画概要書
(農道)

県名	岩手県
地区名	え江刈
所在地	岩手郡葛巻町
事業主体	岩手県

目 次		
第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 の 所 在 及 び 現 況	1
第1節	地 域 の 所 在	1
第2節	現 況	1
第3節	水 利 状 況	4
第4節	営 農 の 状 況	4
第5節	地 域 環 境 の 概 況	4
第6節	道 路 状 況	4
第 3 章	基 本 計 画	5
第1節	計 画 の 要 旨	5
第2節	環 境 へ の 配 慮	6
第 4 章	工 事 又 は 管 理 の 要 領	6
第 5 章	換 地 計 画 の 要 領	6
第1節	換地計画樹立の必要性	6
第2節	換地計画樹立の基本方針	6
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認にかかる地積	7
第4節	非農用地の換地方法	8
第 6 章	費 用 の 概 算	9
第 7 章	効 用	10
第 8 章	他 の 事 業 と の 関 係	12
第 9 章	計 画 概 要 図	13

第 1 章 目 的

〃

本計画地区は、岩手郡葛巻町の南東部に位置し、北上山地と一級河川馬淵川及び国道340号との間に拓けた酪農を中心とした農業を展開している地域である。この地区は、昭和20年代に馬淵川の河川改修がなされたが、排水が上手く流下できず、異常降雨の度に冠水し大きな被害をもたらし、増水後の土砂排土に多大な労力を費やしている。更に、水路は用排水兼用の土水路であるため、その維持管理においても多大な費用を費やしている。又、受益地内の道路は狭小で大型機械導入も困難となっている。

〃

本事業により地域の農業生産性を高め、多様化する農業情勢に対応すると共に、農村生活環境基盤（集落排水、防火水槽、交流施設基盤等）と併せて総合的に実施し、地域の活性化を図る。

地 区 面 積		(単位：ha)						
市町村名	現況地目	水田	普通畑	樹園地	牧草地	計	山林 原野	その他
	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
葛巻町		33.7	23.2	0	0	56.9		56.9
計		33.7	23.2	0	0	56.9		56.9

第 2 章 地 域 の 所 在 及 び 現 況

第1節 地域の所在

〃

本地区は、葛巻町の南東部に位置し、国道340号と一級河川馬淵川に挟まれた酪農を中心とした地帯である。

第2節 現 況

第1項 地形、地質及び土壌

〃

馬淵川両岸に開けた黒色土壌壤土火山腐食型で平均傾斜が1/95、標高430～480mである。

第2項 気 象

上段変更後

下段変更前

1) 一 般 気 象

観測所名	〃 葛巻	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	〃 H. 20～H. 29	〃 5月～8月	〃 9月～4月		
平 均 気 温		〃 18.0 ℃	〃 3.7 ℃	〃 8.5 ℃	
降 水 量	平 均	〃 451.1 mm	〃 618.4 mm	〃 1,069.5 mm	
	基 準 年	〃 —	〃 —	〃 —	
降水日数	平 均	〃 41 日	〃 85 日	〃 126 日	
	基 準 年	〃 —	〃 —	〃 —	
根 雪 期 間		〃 12月19日～3月13日		〃 85 日 間	
無 霜 期 間		〃 5月22日～10月6日		〃 140 日 間	
最 多 風 向		〃 SSW	最 大 風 速	〃 15.2 m/s	

〃

(計画樹立参考資料 H31. 3)

上段変更後
上段変更後

2) 特殊気象

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
葛 巻																
観測期間	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量 〃 (T7年～H29年) (mm)	146	H18. 10. 7	1/212	135	H1. 9. 6	1/108	113	H26. 8. 21	1/27	112	H14. 7. 11	1/26	110	S23. 9. 16	1/23	
最大時間雨量 〃 (S29年～H29年) (mm)	49	H14. 8. 19	1/80	48	H12. 8. 3	1/69	45	S30. 7. 23	1/45	40	S37. 8. 27	1/21	35	S54. 7. 28	1/10	
最大4時間雨量 〃 (S29年～H29年) (mm)	68	S45. 8. 1	1/50	64	H14. 8. 19	1/28	64	H14. 8. 19	1/28	63	H14. 8. 19	1/24	63	H12. 8. 8	1/24	
最大3日連続雨量 〃 (T7年～H29年) (mm)	222	H18. 10. 8	1/304	216	H18. 10. 7	1/234	200	T9. 8. 9	1/116	197	T9. 8. 10	1/102	170	S56. 8. 23	1/32	
最大連続旱天日数 〃 (T7年～H29年) (日)	38	S48. 6. 23	・ ・ ・	35	H11. 7. 18	1/254	32	S57. 7. 29	1/65	32	S51. 6. 12	1/65	32	S32. 6. 3	1/65	

〃

(計画樹立参考資料 H31. 3)

第3節 水利状況

〃
本地区の用水源は、溪流取水が主であり、用排水兼用水路となり、馬淵川へと流下している。その水路は土水路で、
特に、近年の異常気象による集中豪雨等により溢水があり、農作物に多大な被害を及ぼしている。

第4節 営農の状況

〃
本地区の農家の平均耕作面積は、水田及び畑地の合計3.2haで乳用牛を中心とした酪農地帯である。専兼別農家戸
数は専業農家53.7%、第1種兼業農家12.2%、第2種兼業農家34.1%になっており、専業農家において比較的若い後継
者が酪農を中心として農業経営を確立している。

第5節 地域環境の概況

〃
地区内の小河川、排水路には、多様な水生生物が生息している。また、植物についても多くの種が確認されている。

第6節 道路状況

〃
本計画地区は、地区のほぼ中央を南北に国道340号が走り、東側には町道四日市中村線が国道340号と平行に
走っており、本地区の幹線道路機能を果たしている。しかし、受益地内においては、道路の幅員2～3mと狭く、大型
機械化農業経営に支障をきたしている現状である。

第3章 基本計画

上段変更後

下段変更前

第1節 計画の要旨

農業基盤整備において農業用道路 6路線3,796mで拡幅及びアスファルト舗装とする。

計画事業量一覧表

種 別	事 業 量	摘 要
農業用道路	3,796 m	6路線 幅員 3.0/4.0m 表 層 工 (Mアスコン) t= 4cm 上 層 工 (CR-25) t= 10、12cm 凍上抑制層 (RC-80) t= 49～59cm

第2節 環境への配慮

上段変更後
下段変更前

〃
沢の横断部分の構造を検討し、現況の状態を出来るだけ復元できるように水路底に砂利や礫等を敷いて、対象種（トワダカワゲ
ラ）等の保全を図る。

第4章 工事又は管理の要領

〃
工事は全て県営により施工し、施工後の諸施設の管理は、葛巻町が行う。

令和10年度
予定工期 平成22年度～令和 5年度

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

〃
該当なし

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

〃
該当なし

第2項 農用地集団化の方針

上段変更後
下段変更前

//
該当なし

換地区名	区分	地帯別グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い

第3項 清算の方法

//
該当なし

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認にかかる地積

//
該当なし

用 途	公用公共用地				改良区有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
公衆用道路						
用排水路						
計						

//
該当なし

換地区名	区分	用途	所在	面積 (ha)	換地の方法	換地取得予定者	その他

第 6 章 費 用 の 概 算

上段変更後
下段変更前

(1) 事業費の概要

(単位:千円)

事 項			負 担 予 定 額				
			工 事 費	率 %	地 方 事 務 費	率 %	計
事業費			794, 006	〃	—	—	794, 006
			536, 700	100	17, 000	100	553, 700
負 担	国		436, 703	〃	—	—	436, 703
			295, 185	55	8, 500	50	303, 685
区	県		238, 202	〃	—	—	238, 202
			161, 010	30	5, 950	35	166, 960
分 元	地 元	市町村	119, 101	〃	—	—	119, 101
			80, 505	15	2, 550	15	83, 055
分 元	地 元		〃	〃	〃	—	〃
			0	0	—	0	0

(2) 費用の概算(地元負担額)

〃
該当なし

事 業 名	事 業 費	事 務 費	計	備 考
計				

第7章 効 用

上段変更後
下段変更前

その1

単 位：千 円

投資効率及び所得償還率		農業生産基盤整備事業	備考
		農道整備	
総費用(現在価値化)	③= ①+②	1,226,248 701,623	
当該事業による費用	①	1,099,272 590,166	
その他費用(関連事業費+ 資産価額+再整備費)	②	126,976 111,457	
年償還額	④	// —	
年総効果(便益)額	⑤	56,538 40,907	
現況年総農業所得額	⑥	14,387 23,758	
年総増加農業所得額	⑦	57,944 42,060	
評価期間 (当該事業の工事期間+40年)		59 48	各路線のうち、最も長い評 価期間
割引率		// 0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	1,606,388 978,931	
総費用総便益比	⑨= ⑧÷③	1.31 1.40	
所得償還率	⑩= ④÷⑥×100	// —	
増加所得償還率	⑪= ④÷⑦×100	// —	

年効果額及び増加所得額の内訳		年効果額	年増加所得額	備 考
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果			
	国産農産物安定供給効果			
	品質向上効果	126 149	126 173	
	営農節減効果			
	維持管理費節減効果	△ 123 △ 104	1,283 1,025	
	営農に係る走行経費節減効果	56,535 40,862	56,535 40,862	
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果（農業資産）			
	農業労働環境改善効果			
農村の振興に関する効果	災害防止効果（一般資産）			
	災害時緊急対策効果			
多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果（公共資産）			
	地域コミュニティ維持向上 景観・環境保全効果			
計		56,538 40,907	57,944 42,060	

第 8 章 他の事業との関係

//
該当なし

第 9 章 計 画 概 要 図

//
別 添

A1版 S=1:10,000

